

## 議事要旨(5) 金融商品専門委員会における検討状況（金融負債）について

冒頭、加藤副委員長（専門委員長）から、金融負債の分類及び測定について、「検討状況の整理」を公表するまでの今後のスケジュール及び専門委員会における検討状況について、説明がされた。

説明の後、委員からの主な発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ある委員から、公正価値オプションが利用される可能性のある具体的なケースを分析しておくべきではないかとの発言があり、事務局からは、実態調査等を踏まえて今後検討を行っていきたいとの説明がされた。
- ある委員及びオブザーバーから、公正価値オプションが適用されている金融負債について、その他の包括利益（OCI）に一旦計上された金額は、満期前に譲渡等により実現した場合には純損益に組替調整（リサイクリング）するという一つの案とすべきではないかとの発言があった。この点について、事務局から、IFRS とのコンバージェンスを図る観点から検討を行っているという趣旨から、本検討状況の整理では、リサイクリングしない案とあわせて二つの案を掲げているとの説明がされた。
- ある委員から、金融保証契約の取扱いについては IASB が別個のプロジェクト（保険契約）で検討を行っているのではないかとの発言がされ、事務局からは、本件については、IASB の審議動向を踏まえ、対応を図っていくとの説明がされた。

以 上